



安心してお使い頂く為に読み下さい

警告

電源ケーブルについて

アンプ側での対策・対応は不可能な箇所ですので電源ケーブルの取り扱いには十分にご注意下さい。

万が一ショート事故等が発生した場合、発煙、火災の可能性が有ります。見えない所で事故も起こり得ますので、設置・這い回しには十分にお気を付け下さい。

プラグ部分の埃にもお気を付け下さい。

交流100V専用です。90～110Vの範囲が適正電圧です

スピーカー出力端子について

動作中の短絡は即故障、又は劣化の可能性があります。スピーカーの接続切り替えおよび設置、移動時の配線外れによる短絡に十分お気を付け下さい。

使用出来るインピーダンスは3Ω以上の物です。2Ωで大音量を出す故障する可能性があります。音質的にも締まりが無くなりますので、良く有りません。

MONITOR OUT端子について

動作中の短絡はソース機器の故障、又は劣化の可能性があります。設置、移動時の配線外れによる短絡に十分お気を付け下さい。

使用出来る入力インピーダンスは47kΩ以上の物です。

GND端子について

ソース機器にのみ接続出来ます。どうしても電源アースに接続する時は、テスター等にて判断する必要があります。

警告

設置場所について

20kg近い重量が有ります。落下事故等起こらない様に、しっかりと台の上に設置して下さい。特に後方が1点支持になっております。不均等な力により傾き易いので、十分ご注意ください。特にお子様が上に乗る等の事をお願いいたします。

災害について（保証外ですが、適宜対応致します。）

水没時に電源が入っておらず、乾燥後に電源を投入しなければ、クリーニングにより機能を回復、修理可能な場合が有りますので、そのままの状態でご送付願います。火災に被災した場合はコネクター部の樹脂が変形・変色していなければ大丈夫な場合があります。しかし変形・変色があった場合は放棄するしかありません。試してあっても電源の投入は絶対に避けて下さい。

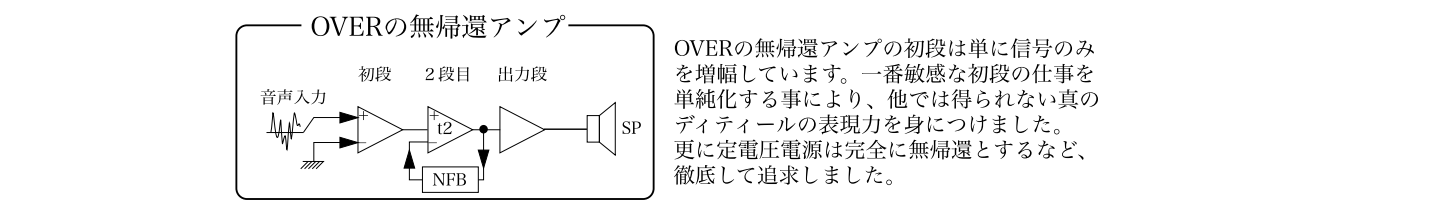
注意

設置場所について

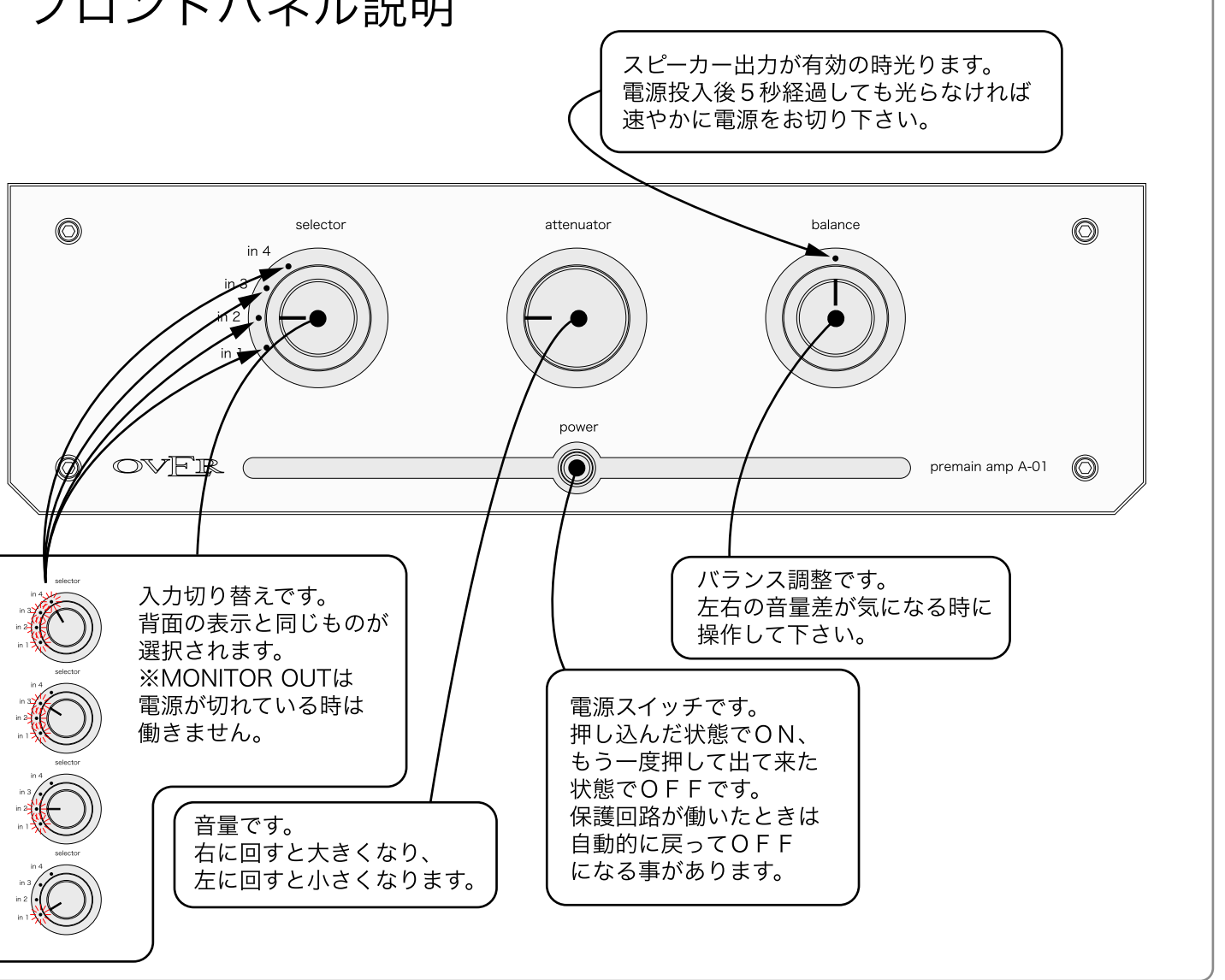
このアンプは純粋なアナログアンプです。従って、電源が入っているだけでも発熱しますので、上には何も載せず、周囲は4cm以上の空間を確保して下さい。もし前面パネルが触れない程に熱くなったら、設置の改善が必要です。そのまま使用すると、寿命及び音質に悪影響があります。

特徴

- ・無帰還構成で自然な音です。
- ・リアアウト・モニターアウト装備。将来、段階的なシステムアップが可能です。
- ・渡り配線ではない本格的なバイワイヤリングSP端子。
- ・端子・ツマミ・インシュレーターは削り出しの高品質な物を使用。
- ・振動に敏感な背面端子及びボリューム類は強固に取り付け。
- ・インシュレーターはアルミが標準ですが、サウンドアートの社の砲金シリーズに交換可能。お使いのシステムにより音質を適宜調整出来ます。
- ・異常検出時には自動的に電源を切り、万一の事故の確率を減らしています。
- ・セクター表示LEDは入力番号に応じて追加灯しますのでパネルが見えない環境でも入力番号の確認出来ます。



フロントパネル説明



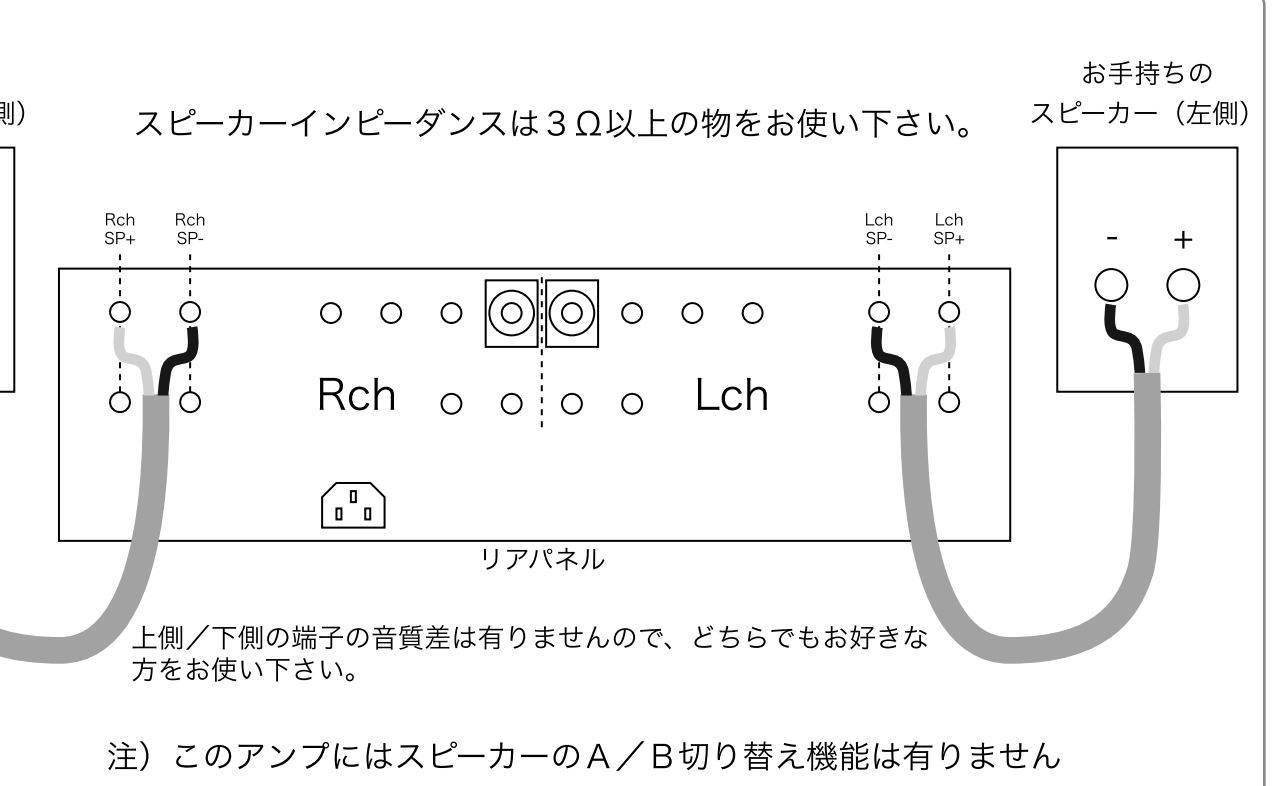
音量です。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

電源スイッチです。押し込んだ状態でON、もう一度押して出て来た状態でOFFです。保護回路が働いたときは自動的に戻ってOFFになる事があります。

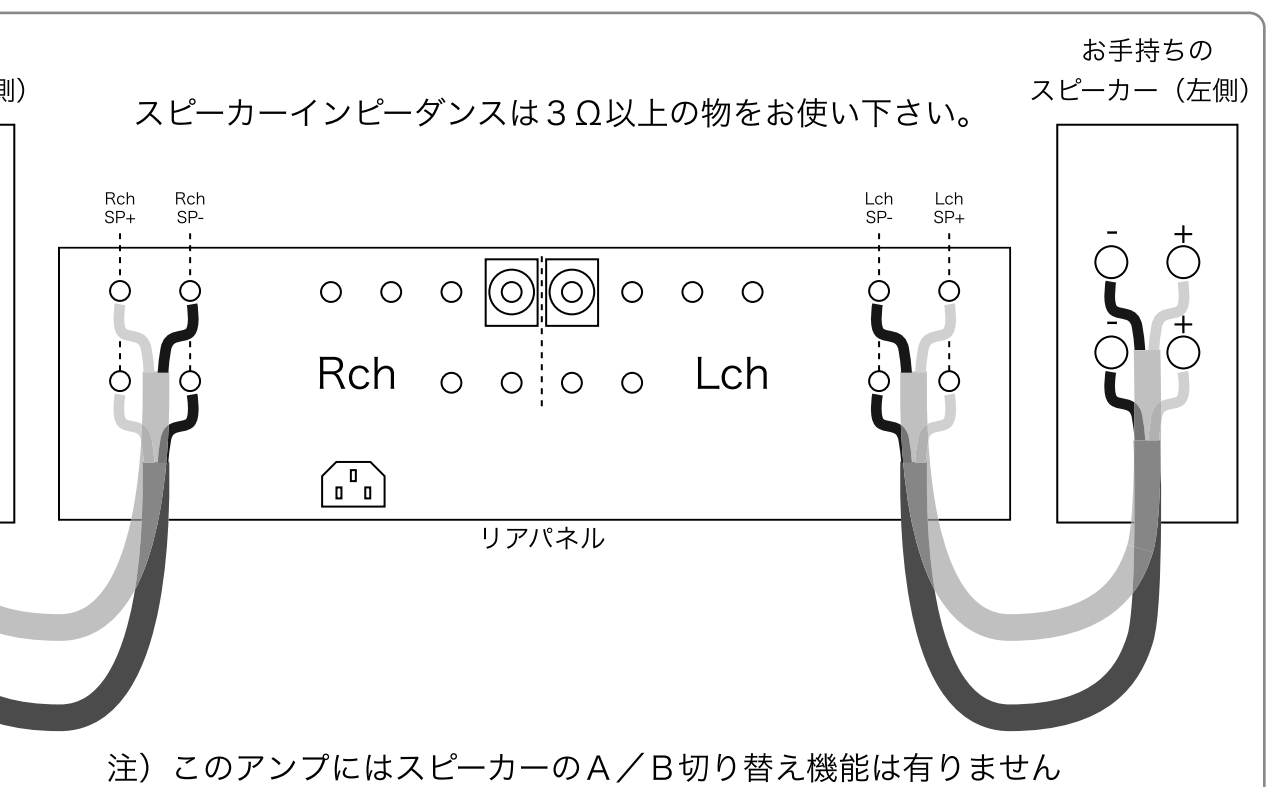
バランス調整です。左右の音量差が気になる時に操作して下さい。

接続方法

スピーカーがシングルワイヤー接続の場合



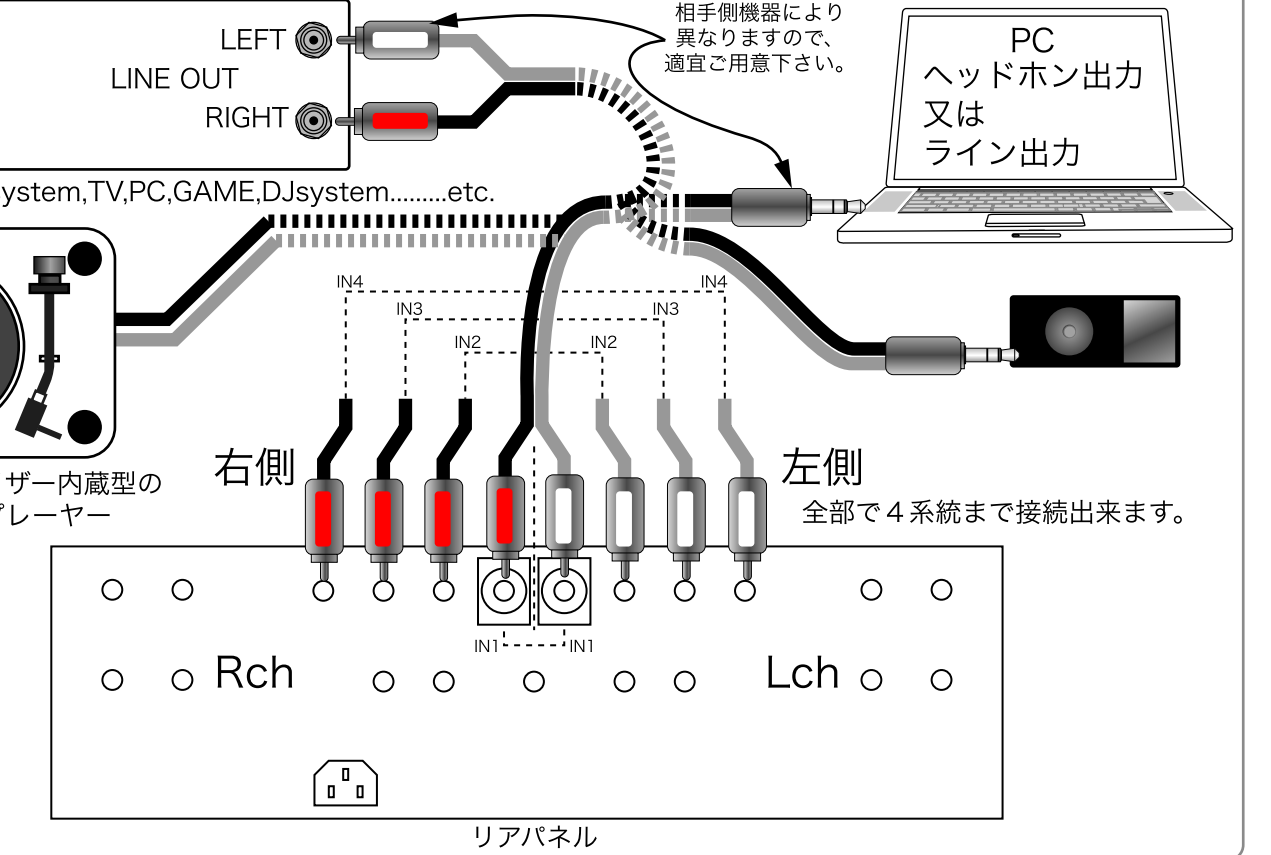
スピーカーがバイワイヤー接続の場合



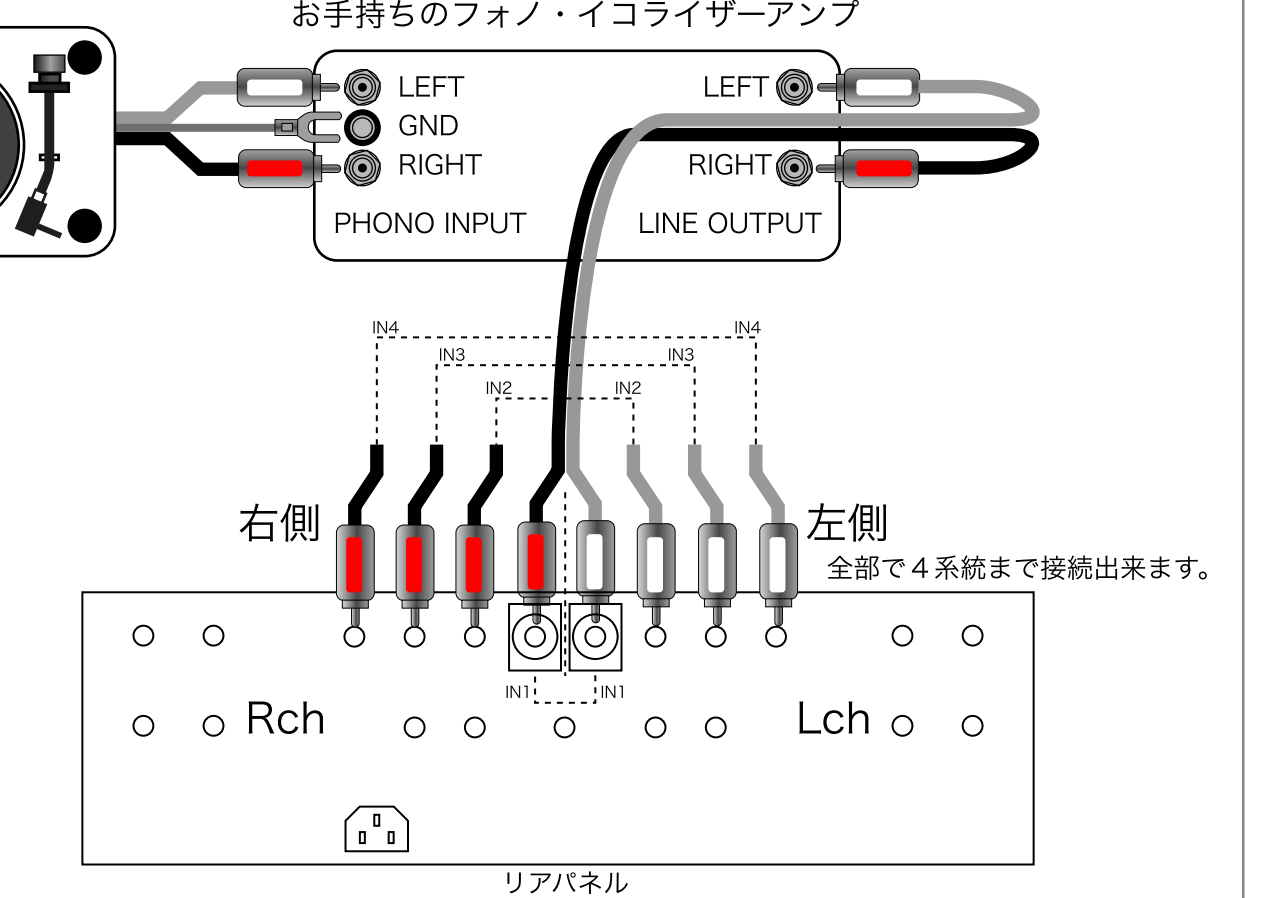
注）このアンプにはスピーカーのA/B切り替え機能は有りません

注）このアンプにはスピーカーのA/B切り替え機能は有りません

CDP、DVDP、携帯オーディオ機器、PC、AV機器等のラインレベルの機器の場合



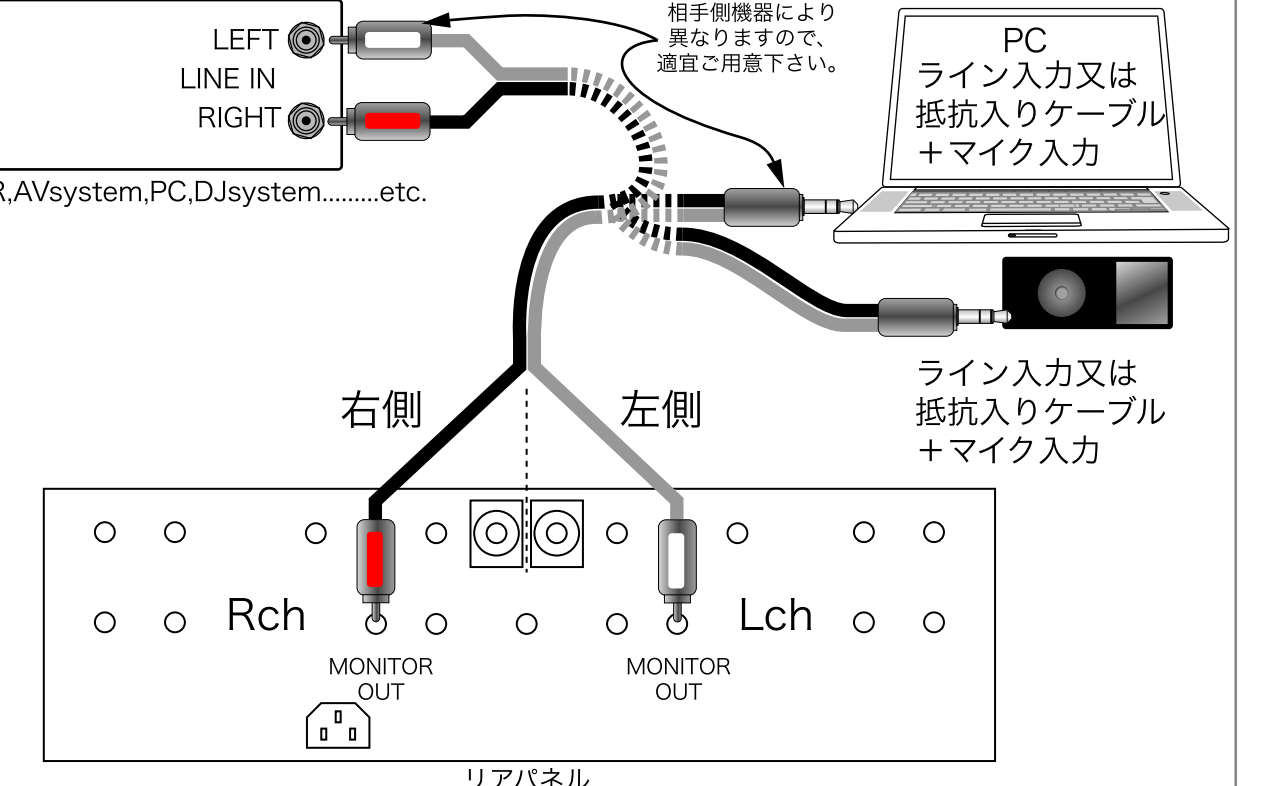
フォノイコライザー非内蔵（ライン出力が無い）アナログプレーヤーの場合



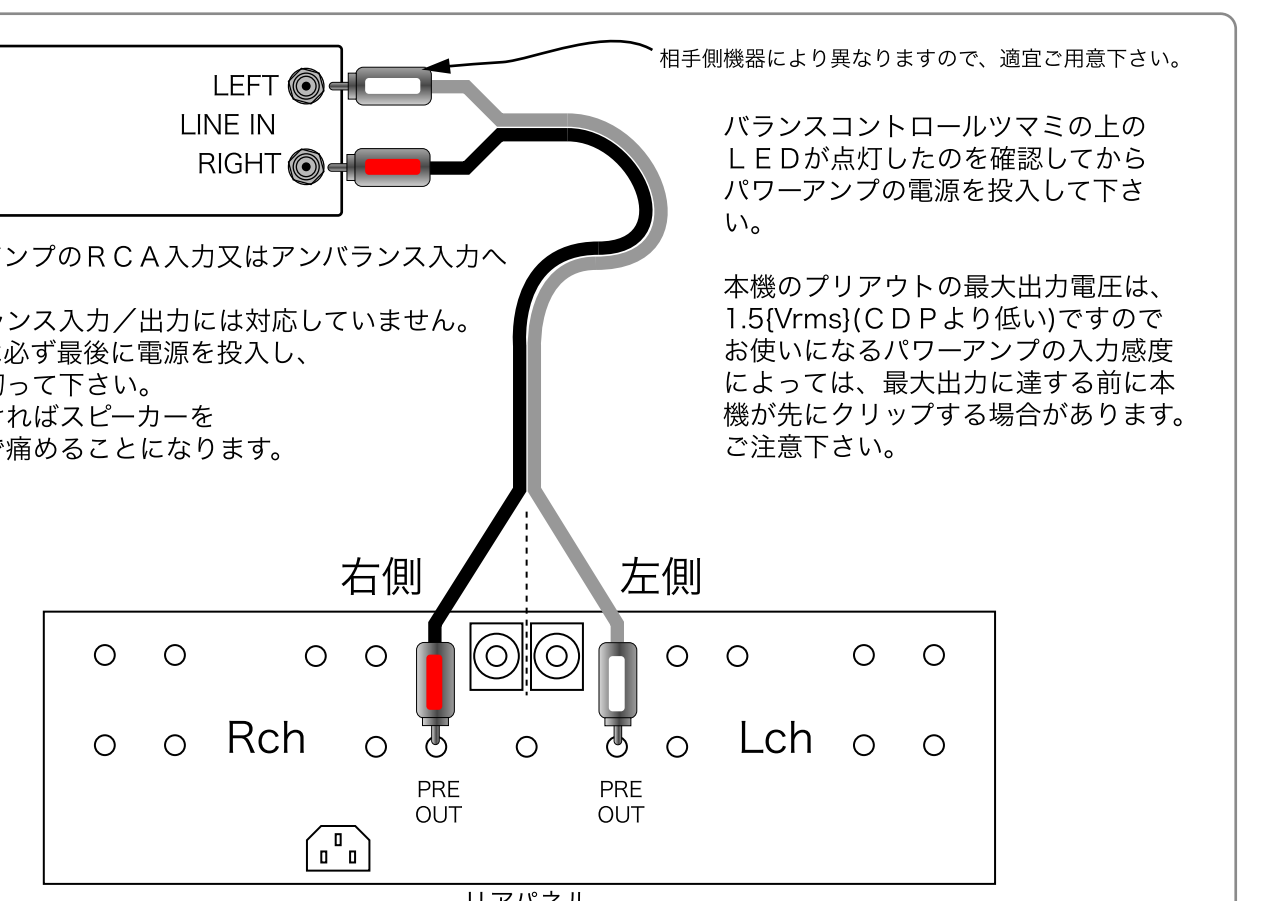
注）このアンプにはスピーカーのA/B切り替え機能は有りません

注）このアンプにはスピーカーのA/B切り替え機能は有りません

モニターアウトから録音する場合



リアアウトを使用する場合



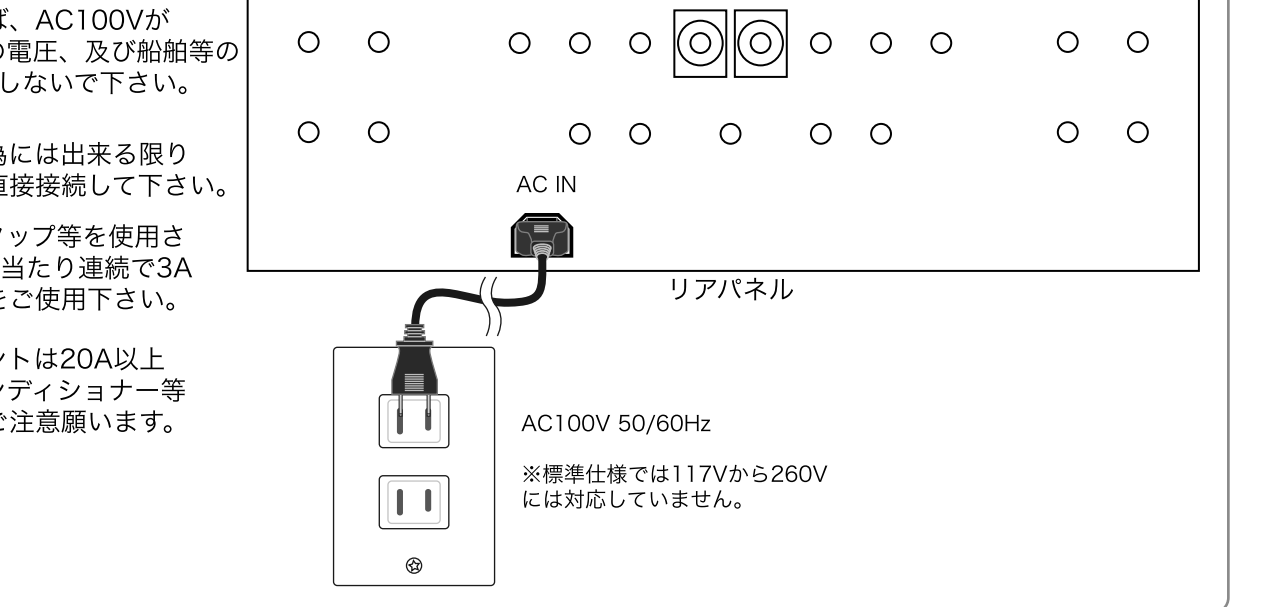
市販のパワーアンプのRCA入力又はアンバランス入力へ

※ 本機はバランス入力/出力には対応していません。

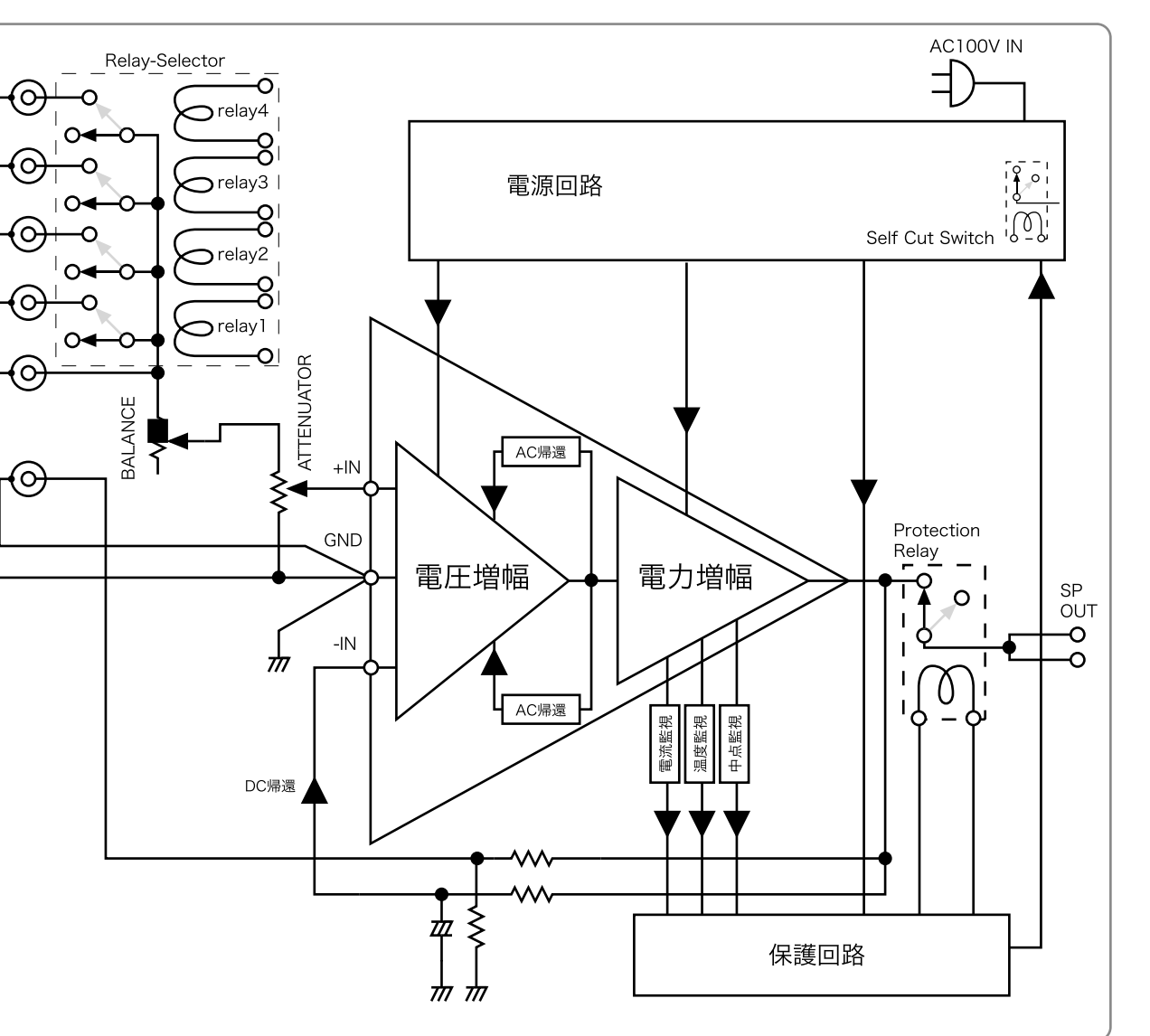
※ 本機はリアアウトの最大出力電圧は、1.5[Vrms](CDPより低い)ですので、パワーアンプは必ず最後に電源を投入し、最初に電源を切ってください。

順番を守らなければスピーカーをかなりの確率で痛めることになります。

電源ケーブルの接続



内部構成（概略）



定格出力 25W×2(8Ω負荷)40W×2(4Ω負荷)

最大出力 30W負荷 55W×2(音楽信号以外での連続動作は保証外です)

SP出力インピーダンス 0.3Ω(10Hz-100kHz)

全高調波歪率 0.08% at 1W

入力感度・インピーダンス 0.3V(8Ω25W出力時)/47kΩ(Attenuator-∞)22kΩ(Attenuator 0dB)

増幅度 34dB

残留ノイズ 150μV(S/N比:98dB)(No weighted no signal/att-∞)

周波数特性 1Hz~100kHz +0,-3dB

消費電力 アイドリング時 40~60W(室温により変化)

重量 最大出力時200W(30W負荷・最大出力時)100W(8Ω負荷・最大出力時)18kg以下

こんな時は

- ・発煙・発火した時は。直ちに電源を切り、コンセントを抜いて下さい。
- ・外出時は、必ず電源をお切り下さい。

症状	原因	対処法
音が出ない	入力選択を誤っている 安全回路が働いた 安全回路が働く時は、以下の通りです。 ・クリップする最大音量を超過した ・D.C.流れる大きな入力機器を接続した ・放熱不十分で機器の温度が上がりすぎた ・インピーダンスが2Ω以下のスピーカーを接続した ・コンデンサースピーカーを接続した ・正常な動作が出来ない電源に接続された ・本機が故障した ・非常に稀ですが、本機が発振等の異常動作した	正しい入力を選択して下さい 電源を一旦お切り頂き、原因と思われる条件を取り除いてから数秒待機後に再投入して下さい。 回復しなければ故障しています。
片chの音が小さい	バランスコントロールを使っている	一旦中央に戻してご確認下さい
電源が入らない	電源ケーブルが抜けている	電源ケーブルをしっかりと接続して下さい
	ヒューズが切れている	重度の故障・誤配線以外で切れる事は有りませんので修理を依頼して下さい。
	お使いの安定化電源の容量超過	お使いの安定化電源の容量を増やすか、本機に対して使用しない様にして下さい

連絡先

卸・販売

設計・製造

〒651-1121 神戸市北区星和台 4-8-9 オーヴァー 代表 大庭 公司

Tel&fax: 078-202-9851 E-mail: over-amplifier@gaiia.eonet.ne.jp

-1-

-2-

-3-

-4-

-5-

-6-

-7-

-8-

-9-